

記者発表資料

(県 政)

近江米新品種「きらみずき」

11月23日(木・祝)から県内量販店での販売開始！

～モリーブ(守山市)で販売会・試食会等のイベントも開催～

今秋デビューしました近江米新品種「きらみずき」は、9月中旬から10月上旬にかけて収穫され、10月の第一週目から県内の一部直売所等で販売が開始されていますが、いよいよ県内量販店において販売開始となります。11月23日(木・祝)の販売開始日には、記念イベントも開催します。



量販店での販売について

- 販売期間：令和5年11月23日(木・祝)から周年での販売予定
主な販売店舗(予定)：(株)平和堂、イオンリテール(株)、スター(株)の県内店舗
販売形態：5kg、2kg袋での販売 ※オーガニック栽培米の販売はありません。

販売開始記念イベント

- 開催日：令和5年11月23日(木・祝)
ステージイベント 13:00～14:30
販売会、試食会、クイズラリー 13:00～17:00
- 場 所：モリーブ(守山市)1階セントラルコート
ステージイベント：13:00～13:10 オープニング挨拶
近江米振興協会会長 滋賀県知事 三日月大造
13:10～13:15 マスコットキャラクター「キラミン」登場・紹介
13:15～13:20 「きらみずき」紹介(CM&動画)
13:25～13:45 食へのこだわりトークショー
滋賀国際親善大使 女優・モデル SHIHOさん
元Jリーガー 村田和哉さん
近江米振興協会会長・滋賀県知事 三日月大造
13:45～13:55 「きらみずき」のおにぎりで乾杯
14:00～14:30 キラミン写真撮影会



連絡先

滋賀県 農政水産部 みらいの農業振興課 077-528-3892
※当日の連絡先： 080-1448-8507（担当 山崎）

（参考）

「きらみずき」について

「きらみずき」は、県農業技術振興センターで育成された新品種です。食味や品質に優れ、様々な気象条件でも安定して栽培できます。オーガニック栽培をはじめ、農薬や化学肥料を極力使わない環境こだわり栽培に栽培法を限定しており、みらいの近江米の主力品種となるべく令和6年度から本格デビューを予定しています。

「きらみずき」育成の背景

「日本晴」や「秋の詩」をはじめとする水稻の中生（なかて）熟期の品種では、出穂期以降の台風や長雨の遭遇、登熟期の高温の影響によって収量や品質が低下するケースが増えています。そこで、県農業技術振興センターは食味、玄米外観品質のほか、耐倒伏性や高温登熟性にも優れ、様々な気象条件でも安定して栽培しやすい中生熟期の新品種「滋賀83号」（後に「きらみずき」と命名）を育成しました。

「きらみずき」名称の由来

炊きあがりキラキラ艶やかで、すっきりとみずみずしい甘さであること。日本一の琵琶湖を有する滋賀県から誕生する新しい近江米が、みらいに向かってキラキラと輝き続けられるようお願いをこめて命名されました。

「きらみずき」栽培の特徴

栽培方法を「①オーガニック栽培」または「②化学肥料（窒素成分）および殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）不使用栽培」に限定しています。県域でのこうした取組は全国でも初めてです。

令和5年度の栽培状況と次年度以降の予定

令和5年度は栽培者74名、栽培面積約55ha（うち「オーガニック栽培」は8名で4.5ha、「化学肥料や殺虫・殺菌剤不使用栽培」は66名で約50.5ha）となっています（ただし、2名は重複しています）。令和6年度には500ha、令和8年度では1,000haの作付けを目指します。